

事務事業名		大船渡市スポーツ推進審議会開催事務		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																											
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																											
	施策名	17 スポーツ・レクリエーションの振興		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款																										
	基本事業名	03 スポーツ・レクリエーション活動の推進		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和38 年度～)		01	10																										
根拠法令		スポーツ基本法、大船渡市スポーツ推進審議会設置条例		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		06	01																										
所属	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課		年度～ 年度		事務事業区分																											
	課長名	熊谷 善男		↓ ※全体計画欄の総投入量を記入		A 政策事業 B 施設整備																											
	係名	体育振興係	電話	27-3111	C 施設管理 D 補助金等		E 一般(A～D以外)																										
	担当者	森 崇	内線	273																													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																													
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ基本法に基づく設置条例により設置され、スポーツの推進に関する重要事項を審議し、教育委員会に答申する。審議会は、スポーツに関する学識経験者、関係行政機関の職員の10人以内で構成され、任期2年。当年度の体育事業の実施状況と翌年度の実施計画などを審議している。 ・主な業務は、事務局として審議内容の資料作成など。 ・事業費は、審議会開催に係る委員報酬、費用弁償に支出される。 				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="3">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																															
		都道府県支出金																															
		地方債																															
	その他																																
	一般財源																																
	事業費計(A)	0																															
	人件費	正規職員従事人数																															
	延べ業務時間																																
	人件費計(B)	0																															
	トータルコスト(A)+(B)	0																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>スポーツ推進審議会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	ア	スポーツ推進審議会開催回数	回	イ			ウ		
名称		単位											
ア	スポーツ推進審議会開催回数	回											
イ													
ウ													
今年度計画(今年度に計画している主な活動)													
前年度と同じ。 スポーツ推進計画等の策定													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
市スポーツ推進審議会委員	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>スポーツ推進審議会委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	カ	スポーツ推進審議会委員数	人	キ			ク		
名称		単位											
カ	スポーツ推進審議会委員数	人											
キ													
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
スポーツ・レクリエーション活動の推進に関する事項について審議する。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ</td> <td>委員の意見、提言等数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	サ	委員の意見、提言等数	件	シ			ス		
名称		単位											
サ	委員の意見、提言等数	件											
シ													
ス													
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)													
スポーツ・レクリエーションが活発に行われる。													

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>元年度(目標)</th> <th>2年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="7">投入量</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>37</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>330</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>37</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>330</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>60</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>240</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>77</td> <td>72</td> <td>72</td> <td>68</td> <td>570</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			単位	年度						27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	投入量	事業費	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円							一般財源	千円	37	32	32	28	330	55		事業費計(A)	千円	37	32	32	28	330	55	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	2	1	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	60	10	人件費計(B)	千円	40	40	40	40	240	40	トータルコスト(A)+(B)	千円	77	72	72	68	570	95	⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	イ								ウ								⑥対象指標	カ	人	10	10	10	10	10	10	キ								ク								⑦成果指標	サ	件	7	6	3	2	5	5	シ								ス							
	単位			年度																																																																																																																																																																							
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)																																																																																																																																																																				
投入量	事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																								
		都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																								
		地方債	千円																																																																																																																																																																								
		その他	千円																																																																																																																																																																								
		一般財源	千円	37	32	32	28	330	55																																																																																																																																																																		
		事業費計(A)	千円	37	32	32	28	330	55																																																																																																																																																																		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	2	1																																																																																																																																																																		
延べ業務時間		時間	10	10	10	10	60	10																																																																																																																																																																			
人件費計(B)		千円	40	40	40	40	240	40																																																																																																																																																																			
トータルコスト(A)+(B)		千円	77	72	72	68	570	95																																																																																																																																																																			
⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																			
	イ																																																																																																																																																																										
	ウ																																																																																																																																																																										
⑥対象指標	カ	人	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																			
	キ																																																																																																																																																																										
	ク																																																																																																																																																																										
⑦成果指標	サ	件	7	6	3	2	5	5																																																																																																																																																																			
	シ																																																																																																																																																																										
	ス																																																																																																																																																																										

事務事業ID	1020	事務事業名	大船渡市スポーツ推進審議会開催事務
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	スポーツ振興法の規定で昭和38年にスポーツ振興審議会が設置されたことにより、事業が始まった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・市のスポーツ振興事業は、大船渡市体育協会や体育関係団体と連携して実施し、スポーツ教室や市民体育大会のほか、オリンピック出場選手を顕彰したマラソン大会、バレーボール大会や県内外から選手が参加する各種マラソン大会など多岐に及ぶ。 ・三陸町との合併により、スポーツ振興事業数や参加人数が増加した。 ・平成23年8月、スポーツ基本法が施行され、スポーツ推進審議会へと名称が変更された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	目的や分掌事務が類似することから、大船渡市体育施設運営審議会との違いを明確にすべきとの意見が寄せられたことがある。(行政改革推進本部会議において、大船渡市体育施設運営審議会との統合が検討されたが、目的等が異なることから、統合しないこととされた。)類似する体育施設運営審議会を平成30年3月に統廃合した。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？	市のスポーツ振興に係る重要事項を審議するものであり、このことが当市のスポーツ振興事業の効果的な推進に寄与することから、結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	スポーツ振興法の規定により設置し、市のスポーツ振興に係る重要事項を審議する場であることから、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	市のスポーツ振興事業が適切であるかを検討するために適切な事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	スポーツ振興に関する重要事項を審議する場であり、成果の向上が見込まれるものではない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	法令設置の審議会のため、事業の廃止や休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は、委員報酬と費用弁償であり削減は難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	審議会開催事務は必要最低限で行っており、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	受益者負担は伴わない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	スポーツ推進のあり方について委員からの意見を踏まえ、今後も施設の復旧、団体の維持・安定に努めていく方針を確認することができた。	(2) 改革・改善による期待成果																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	市内スポーツ振興に向け、審議会を有効に活用していく。		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	市が推進する各種スポーツ振興施策について、専門的見地から審議していただいております。今後とも継続していくべきである。